

# 三國峠切り崩したら...

インフラが今ほど整っていないなかった時代、冬の闘いは過酷だった。そこに光を当て、太平洋側の格差是正を訴えたのが、本県出身の田中角栄元首相だ。「入門 田中角栄」(新編日報社編)などによると、戦後の昭和20年代初め、総選挙に出馬した若き日の「角さん」は、こう演説した。

「三國峠を切り崩す。そうすれば季節風は太平洋側に抜けて、越後に雪は降らなくなる」

群馬県境の三國峠をなくそう、という壮大な発想。「出た土で海を埋めれば佐渡と陸続きになる」とも言ったとか。

本当に三國峠を切り崩せないものか。どんな大工事が必要になるのだろう。天気は変わるのか。

建設会社の福田組(新潟市中央区)にお願いすると、工事内容を試算してくれることになった。あくまで「夢」の話で、現実の計画ではない点に留意を。

県境をまたぐ一地点である三國峠だけの工事では、少し心もとない。そこで三國峠から清水峠まで、谷川岳など2千近い山が連なる約18キロ区間で検討してもらった。

見積もりに挑んだのは、技術部の若手社員5人を中心とするチーム。他県の山を参考に、海拔800以上を掘削すれば積雪を抑えられるのではないかと想定した。掘削土砂は935億立方メートル、デンカビッグスワン4万6700個分に当たる量だ。

水の上に「出た土で海を埋めれば佐渡と陸続きになる」という演説について

## ■「角さんの夢」検証

も考察。水深が比較的浅い柏崎市から佐渡市小木の間を埋め立てるプランを立てた。

どう掘削するのか。全て爆破する場が必要。必要火薬は300億ト。長岡花火の正三尺玉(火薬重80キ)で3750億個分になる。他の手段も併用するが、基本的には爆破で細かくした土をシヨベルカーやタンクカーで運び出す方法がメインになりそうだ。

工事期間は100年と設定し、現在ある機械や工法などを検討。リーダーの井貝武史さん(48)は「100年間、毎日工事すると1日当たりどれくらい掘削が必要かを計算したと説明する。はじき出した数字は256万立方メートル。この量を日々掘削しては、柏崎の海まで持っていく。10トンダンプなら1日22万台が要る。仮に用意できても2

り。雪雲の発達が弱まることや関東方面への吹き抜けて一定程度の減少はあり得るものの、「小千谷、小出、六日町並みの降雪量は維持される」と考え

千ヶ超の大波濤が発生してしまう。そこで使うのがベルトコンベヤーだ。地下に掘ったトンネル内に設置し、土砂を運搬する。山の掘削前にトンネル工事をするため、期間は20年延びる。海の埋め立てなどを含め、総工事費は1485兆円と見込んだ。国家予算の10倍超の巨額事業だ。

雪は本当に降らなくなるのか。新潟大教授の本田明治さん(54)「気象学」は「三國峠や周辺の山がなくなっても越後の雪はなくなりません」ときっぱりと語った。

雪は本当に降らなくなるのか。新潟大教授の本田明治さん(54)「気象学」は「三國峠や周辺の山がなくなっても越後の雪はなくなりません」ときっぱりと語った。

3月9日 水曜日 第1223号  
Otona  
角さんの夢実現できる?

三國峠工事の主な内容	掘削土砂量 935 億m <sup>3</sup> (土砂全量爆破の場合) 火薬量 300 億トン 従事作業員 1日 40 万人 工期 120 年 総工事費 1,485 兆円	デンカビッグスワン 4万6700 個分 長岡花火正三尺玉 3750 億個分 ビッグスワン建設は多くて1日約 800 人 トンネル工事 20 年 掘削 100 年 2023 年度 政府予算案の 13 倍
------------	--	---

掘削の内容で実際に計画があるわけではありません  
※福田組の試算を基に作成

我々が、この世に誕生して4・5歳のころ、若き日の角さんが壮大な夢をぶち上げていました。面白いので読んでください。もう超高齢の俺には、夢でも良いから☺☺☺☺――と。足腰が弱い俺には? 皆さんは、どうですか。。。。